

さとやま体験公園で つながる人とくらし

地域の課題

- ・旧住民と新住民の交流が少ない

→市民活動の継続・活性化が重要

→昔の生活を知っている人がまだ残っている

NPOなどもあるだろう

その人たちを巻き込みたい

- ・住宅地は少なくはない

- ・都市と田舎の間

- ・里山→管理不足による獣害

(公園内の問題として)

- ・日常的な利用が少ない→増やしたい

- ・茅葺民家の維持が大変

公園のココを使う！

- ・茅葺民家

・緑の相談所→山野草、キノコについて

・さとやま生き物園

もともといいる生き物（その土地ならでは）

・池　　・田んぼ

・里山（炭焼き窯があるかも）

想定する公園：風致公園（大都市近傍、農村風景を残す）・地域の伝統的な茅葺民家（移築復原）を拠点として、農林業体験などを市民向けに提供

こんなさとやま体験！

- ・萱を育てる、刈り取る、
かやぶき体験←中で炭をたくと防水
- ・虫取り
- ・炭焼き体験、炭窯を作る
木を倒すところから
茅葺民家で宿泊体験
できた炭を茅葺民家で利用（おやき）
- ・稻作、稻刈り→できた米でもちつき
- ・ジャガイモ掘り、牛の乳でバターづくり
→じゃがバター
- ・除草にヤギ（維持管理）
- ・焼き芋づくり
- ・竹とんぼづくり
- ・凧揚げ
- ・遠足などで農作業体験
- ・休日は親子連れの利用

講師にはこの土地に昔から住んでいた方、昔の生活を知っている方

こんな効果が得られます！

- ・昔からの方も、新しい方も
たくさん的人が集まる
- ・いきものの触れ合い
- ・新旧の住民交流
- ・歴史・文化の継承
- ・高齢者の活躍
- ・健康づくり
- ・里山景観が守られる
- ・春夏秋冬、一年中楽しめる

公園で得た体験、知識を活かして最終的に…

地域にある

耕作放棄地の管理

家族のきずなを深めよう！シイタケ育成体験！

この夏から、●●公園では、園内の里山を活用して、シイタケの育成体験事業を始めます。プログラムの概要は以下の通りです。

1. スケジュール

- ①春の作業： 4月29日10時から16時頃 シイタケの植菌作業と里山の手入れ
②夏の作業： 7月29日10時から16時頃 ほど木の手入れとキャンプ
③秋の作業： 10月11日10時から16時頃 みんなで収穫祭！ キャンプ場でシイタケバーべキュー！

2. 集合場所

各回とも、●●公園かやぶき民家

集合後、参加者で作業場所に移動します。

3. この事業の意義

シイタケの食育や地元の伝統野菜の育成を通して、子供たちの地域への愛着をはぐくみ、家族のきずなを深めるとともに、地域の自然や食文化に触れることができます。

4. 今後の予定

この体験会にご参加いただいた方々を中心に、公園を盛り上げるご意見やアイデアを聞き取り、公園の運営に反映していきます。この他にも事業への協賛やスポンサーを募集しておりますので、ご興味のある方は下記の連絡先までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】 ●●公園管理事務所（住所：●●市●●区●●）

日付：2020年11月11日
グループ番号：■
進行役：■
書記係：■
発表者：■ ■

公園の課題

- ・40年経過し、施設面が老朽化している。
- ・利用率の低下
- ・名所の環境も悪化し、管理が大変になっている。

地域の課題

- ②ニュータウン付近の地区公園
- ・高齢化、子育て世代の誘致をしたい
 - ・幅広い層の獲得
 - ・多世代交流

名所復活！

ハナショウブも
野草も咲き乱れる
かつての水辺風景の再生
プロジェクト
ハナショウブの花言葉
～信頼とやさしい心～

- ・40年前の溜池。かつては豊かな里山の池だった環境
- ・40年ならば、埋土種子（泥の中で環境が良くなるまで休眠している種）の再生が狙える。
- ・地域の環境のポテンシャルが非常に高い。これを活かして地域の魅力アップ！！

★交流の場づくり（地域コミュニティ醸成の場に）

●緑の相談所のリノベ

- ・水辺環境の交流館にリニューアル
- ・かつての風景を知っている高齢者から、子どもたちに環境教育をする場に。
- ・大規模なリニューアルには企業の協賛などを取り付けることも考える。
- ・展示、普及啓発には専門家と連携

★ボランティア活動の拠点

- ・日々活動する公園ボランティア（高齢者中心）。
- ・近隣学校、地域企業などのボランティア活動の場に
- ・公園ボランティアが指導し、多世代交流
- ・地域の自然を研究する大学などと連携。全員が同じベクトルで活動する。一丸。
- ・知識、経験、技術の継承。未来の世代へつなぐ。

●水辺の再生をきっかけに地域を活性化

●ここにしかない、唯一無二の公園の価値を築く

●名所に人が集まり、地域の価値を高める

日付：2020年11月11日

グループ番号：■■■

進行役：■■■■■

書記係：■■■■■

発表者：■■■■■

みんなで村をつくろう！

地域（大都市近傍）

(課題) 「場」が足りない！

- ・子ども…環境学習の場がない
- ・リタイヤ世代…活躍の場
- ・大人…体験の場(自然・昔の生活)
平日は動けない
- ・事業者…採算性(場所代：収益)

地域と公園が
共存共栄する
マッチング

公園（農村風景を残す風致公団）

(課題)やりたいことは沢山、でも人もお金も足りない

- ・公園施設の活用(里山・農地・茅葺古民家)
- ・活用、利用促進と環境・景観保全の両立
- ・イベントのコスト的なリスクは怖い(ソフトプログラムでうまく集客したい)
- ・増える処分費「ゴミ」から「資源」へ変えられないか

モノからコトへ(公園を体験の場に)

(解決策)

- ・クラフト「森の時計作り」「薪割り」
- ・生活体験「収穫」「調理」「食べる」「味噌作り」「かまどでご飯を炊く」「茅葺屋根の葺き替え」
- ・公園施設もみんなでつくる「農のガーデン作り」「ピザ釜づくり」
- ・地元のシェフによる食のワークショップ、流通に乗らない地元農地限定の固定種栽培(ブランド化)→育てた野菜でピザ作り
- ・学生によるチャレンジ・カフェ開催+こども食堂
- ・農のウェディング、前撮り

タイトル：ウェルカム マイ パークタウン！

公園もまちも若返る！飛び出す公園づくり

想定される公園：2例目。かつてのニュータウン駅前にある地区公園

①公園周辺地域が抱える課題

- ・周辺団地の施設老朽化
- ・高齢化が進行（若年層家族が居住していない）
- ・子ども利用者少ない
- ・緑の相談所の活用しきれない。
- ・禁止項目が多い

与件：

- ・駅からは近い
- ・花しょうぶの名所（市外からも来訪）ほかの花はない。
- ・緑の相談所

②- 1 公園活性化目標

- 若年層ファミリーの利用者を増やす。**
(団体利用後、家族とくるようなファンを増やす)
- リピーターを増やす。
→運営側に学生・若い人を取り込む。

②- 2 地域貢献の目標

- 将来的に若年層ファミリーの居住者を増やす。
・高齢者と子供をつなげたい。
・学生と子どもをつなげたい。

③具体的な取り組み(狙い・効果)

- <維持管理>
- ・花しょうぶ以外の花の種類を増やす。
- <イベント・運営管理> **若年層向けのイベントを打ち出す**
- ・飛び出す緑の相談所
(学校に相談員が出張します！)
(夏休みの宿題を助けます！)
(メール・FAX・LINE・SNSを相談に活用します！)
 - ・飛び出すプレーパーク
(学生・高齢者等が、公園の物を利用して毎週実施)
 - ・マルシェ的なイベントを実施。
 - ・花しょうぶを家庭で育ててもらう里親制度
(高齢者も孫家族 取り組み参加できる。)
- <広報>
- ・駅前に公園の花を植栽し、駅員に管理してもらう。

日付：2020年11月11日

グループ番号：■

進行役：■

書記係：■

発表者：■

Go To 里山！！（茅葺まで1時間♪）

日付：2020年11月10日
グループ番号：■
進行役：■
書記係：■
発表者：■

●公園の設定

大都市近郊。農村風景を残す地域。茅葺民家。野菜の収穫ができる。

●公園の課題

- ・公園が出来た時に元からの住人とのコミュニケーションはあるが、新しい方をどう巻き込んでいくか。
ボランティア獲得できていない（継続していくか） 高齢化も進んでいる。
- ・大都市からの住人に、いかに農村に興味をもってもらうか。
- ・大都市から人が来てもらう仕掛け。

●課題をどう解決していくか

- ・観光農園的にしていく（バーベーキュー場の併設、とれたて野菜の販売）
- ・愛着を持ってもらうために、農村風景を残すことにつながる体験型イベントの開催
(茅葺屋根のふき直し体験、竹の子ほり体験、宿泊体験、木を植える・自分達で育てる農林業体験)
- ・地域との貢献（公園外での竹林体験につなげる、地域の子育てサークルとの協働、伝統文化の保存として地域の技術を持っているシニア層の活用）
- ・地元の人からすると、オリジナル商品や特産品を販売できると良い。公園でまず情報発信をして、地元を知ってもらう。（SNS等）
- ・SNS参考：若い世代へはフェイスブック。HPは年齢層高い人。参加者が写真をアップしてそれが拡散されていく。
- ・農村の知識は、公園の地域の老人クラブと連携し、シニア層の活躍の場を広げる。
- ・大学との連携で、生物の保全をしながら、環境学習の場所として、活用する。

●最終的にどのような公園にしていくか。

- ・公園を中心に、農村風景を残しながら、大都市からの観光も呼び込みつつ、
地域の活性化を図っていく。

タイトル：みんなの芝生広場で〇〇〇しよう！

日付: 2020年11月11日
グループ番号:
進行役: [REDACTED]
書記係: [REDACTED]
発表者: [REDACTED]

このたび海岸公園では、人工芝の広場を造成するために広く皆さまから寄付を募ります。

地域貢献の一環として、地域の皆様により公園に寄り添ってもらえる生活を提供するために芝生広場を複数造成します。

学校や企業等の団体の皆様に来ていただける周囲には無い“人工芝広場”をたくさん作ります！！

特徴 :

- 新型コロナウイルス対策をとり、密にならない
- サッカーコートであれば2面ぐらいの広さです
- ナイター照明も完備ですので、仕事帰りのリフレッシュに利用可
- 海水浴・潮干狩り、大型野外コンサート、遊園地、オートキャンプ場、宿泊研修施設との相互利用で活動の幅が広がります

人工芝になると

- ①雨天でも使用することが出来ます。
- ②メンテナンスフリーなので、いつでも使えます。
- ③転んでも怪我がしにくいです。

人工芝では

- ①野球・サッカー・ラクロス・ホッケー・ラグビーなどのハードプレイも可
- ②ランニング教室・かけっこ教室の運営も出来ます
- ③飲食のできる面もありますのでファミリーでの利用も可（運動会等もOKで屋根付き）

特典 協賛金をいただいた方（団体）には利用料金の割引

県の予算で実施し、企業の寄付も募ります

地元企業と公園のつなぎ役を担います